

令和7年第2回区議会定例会 区長挨拶要旨

令和7年第2回区議会定例会の開会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

本年度も2か月余りが経過いたしました。今後とも、区議会並びに区民の皆様との連携・協働により、区政を進めてまいります。宜しくお願い申し上げます。

はじめに、「バルサアカデミー葛飾校への対応」についてです。

本年3月27日の「バルサアカデミー葛飾校運営法人へのグラウンド優先利用に反対する決議」を受けて、この間、私が先頭に立って、これまでのバルサアカデミー葛飾校の誘致や運営の状況について調査を進めております。調査結果につきましては、今後、議会にご報告いたします。

今回の問題を契機として、グラウンド等体育施設の利用の在り方、有償スクール事業の在り方などの見直しを進め、地域のスポーツ振興の更なる活性化に向けた取組を進めてまいります。

次に、「令和7年度第一次補正予算案」についてです。

地域の経済活動を活性化するために、「かつしかプレミアム付商品券」については、令和7年度当初予算において前年度当初予算と比べて発行部数を拡大して予算計上しているところですが、依然として物価高騰が続いていることから、発行部数を更に拡大するとともに、「デジタルプレミアム付商品券かつしかPAY」についても発行部数を拡大するための経費を計上いたしました。

また、東京都が実施する物価高騰緊急対策事業の対象とならない介護施設や私立学童保育クラブ等に対して、安定的なサービス提供の維持を支援するための予算を計上いたしました。

そのほか、保育所等における第一子保育料無償化や、帯状疱疹ワクチンの定期予防接種に係る経費などを計上いたしました。

以降、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現するための主要事業の進捗状況を申し上げます。

第1に「いつまでもいきいきと幸せに暮らせる、安全・安心なまち」について申し上げます。

はじめに、「地域安全活動支援事業」についてです。

個人住宅の防犯力の向上のため、令和6年度から実施している住まいの防犯対策助成は、3,785件と大変多くの申請をいただきました。

令和7年度は、助成上限額を4万円から6万円に引き上げ、引き続き実施いたします。あわせて、共同住宅内の所有者や管理組合などが、共用部に設置する防犯カメラへの助成についても、令和6年度に引き続き実施することで、更なる安全・安心につなげてまいります。

また、犯罪抑止や防犯意識の向上のため、自治町会、商店会に対して街頭防犯カメラの設置に関する補助を行っています。令和6年度は32団体に助成、合計148台を設置し、区内の街頭防犯カメラの設置累計数は1,475台となりました。令和7年度も、引き続き積極的な支援を実施してまいります。

今後も、犯罪抑止の取組を強化していくことで、区民を犯罪被害から守り、安全・安心に暮らすことのできるまちづくりを進めてまいります。

次に、「感震ブレーカー設置支援事業」についてです。

首都直下地震の発生が危惧される中、出火防止対策の強化を目的として、令和6年度は、大規模地震時に火災の危険性が高い地域の建物に対して、一括遮断型の感震ブレーカーの無償取付・配付と設置費助成により約5,700件の設置支援を行いました。

令和7年度も、高齢者等を対象とした既存の設置費助成に加え、引き続き、火災危険度の高い地域の建物に対する設置費助成を4月1日から実施しています。特に費用が高額となる感震ブレーカー機能付分電盤への取替えについては、助成上限額を2万円から5万円に引き上げ、申請者の負担を軽減いたします。5月26日からは、火災危険度の高い地域の住宅の居住者を対象に、感震ブレーカー配付申請の受付を開始いたしました。

こうした取組を継続することにより、大規模地震時の火災被害を大幅に減らすとされる感震ブレーカー設置率25%を目指してまいります。

次に、「マンション向け防災講座」についてです。

自然災害の激甚化・頻発化で区民の防災意識が高まる中、自治町会による防災活動が進む一方、自治町会への加入が少ない中小マンションでは、自助・共助を進めるための取組が課題となっています。

これを受けて、3月の2日間、区内2か所でマンションにお住まいの方を対象にしたマンション向け防災講座を実施し、55名の方にご参加いただきました。マンション特有のリスクなどを踏まえた、自助・共助の事前の備えについてお伝えしたところです。

今後も区民の皆様に、お住まいの地域や建物によって異なる災害リスクを正しく理解していただき、自助・共助の取組を一層推進できるよう、防災講座などあらゆる機会を捉え、災害対策の重要性について周知してまいります。

次に、「被災者生活支援に関する取組」についてです。

本区では、能登半島地震で課題となった罹災証明書発行の遅れなどの課題を踏まえ、対策を進めています。住家被害が軽微なケースでは現地調査を省略し、被災者自らが撮影した写真で被害を判定する自己判定方式を導入するなど、罹災証明書発行業務の迅速化を図っているところです。また、各種被災者支援制度の多くが、被災者からの申請が必要であることを踏まえ、制度の理解が図られるよう、4月に「被災者生活支援ガイドブック」を公表いたしました。

今後も区ホームページへの掲載をはじめ、各種説明会や出前講座等、あらゆる機会を捉えて、被災者生活支援に関する周知を推進してまいります。

次に、「荒川橋梁水防訓練」についてです。

昨年に続き京成本線荒川橋梁部の夜間水防訓練を6月13日の鉄道運行終了後、実際の線路上において実施いたします。

実際の訓練に向けて、荒川の越水防止対策である止水板と大型水のうを設置するに当たり、机上訓練や平地での設置訓練を繰り返し行うとともに、5月31日には、東京消防庁と合同の水防訓練も実施いたしました。

今後も、橋梁架替工事の進捗に合わせ、適宜、訓練の内容や手順の見直しを行うなど、効率的に訓練を行える体制を整え、更なる水防活動の強化を図ってまいります。

次に、「避難行動要支援者に関する取組」についてです。

避難行動要支援者の避難先確保のため、福祉避難所の実態把握を目的に、昨年度は、協定を締結している民間福祉施設を対象とした調査・ヒアリングを行いました。今年度は、福祉避難所に指定している都立学校についても、追加の調査・ヒアリングを実施した上で、医師会や民間福祉施設等の関係機関を含めた会議体を立ち上げ、福祉避難所の在り方について改めて検討していく予定です。

また、避難行動要支援者対策としては、昨年度、個別避難計画の実効性の確保に向けたモデル実施や福祉施設のBCP策定などを進めてまいりました。

今後、個別避難計画作成支援モデル実施の拡大、福祉避難所整備方針の検討を含めた避難行動要支援者の避難支援体制の強化を図ってまいります。

次に、「带状疱疹ワクチンの定期接種」についてです。

本年4月から、65歳以上の方などを対象にした带状疱疹ワクチンの定期接種が始まり、対象となる方に対し、接種に必要な予診票を送付いたしました。带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気で、70歳代での発症が最も多くなっています。ワクチンを接種することで、带状疱疹や合併症を予防する効果が認められており、定期接種の対象となる方が、機会を逃すことなく無料で接種できるよう、必要な経費を第一次補正予算案に計上いたしました。

引き続き、区民の健康につながるよう、安心して予防接種を受けられる体制の構築に努めてまいります。

第2に「子どもが元気に育ち、誰もが生涯にわたって成長し活躍できるまち」について申し上げます。

はじめに、「保育料無償化」についてです。

子育て世帯の負担軽減の拡大を図るため、本年9月から、都の負担軽減事業を活用し、0歳から2歳までの第一子の保育料無償化を実施いたします。

また、都の制度では対象とならない幼稚園通園者や家庭で育児をしている世帯に対しても、区独自の負担軽減策を実施することとし、必要な経費を第一次補正予算案に

計上いたしました。

子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、誰もが安心して子育てできる環境づくりに取り組んでまいります。

次に、「かつしかハッピーお届け隊事業」についてです。

子育て期の孤立化・孤独化を防止するため、生後5か月から11か月までの時期に、訪問員が毎月1回訪問し、区の子育て支援制度を紹介しつつ、子育てに関する悩みや相談をお聴きし、支援が必要なご家庭には適切な相談窓口や各種サービスをつなげる、かつしかハッピーお届け隊事業の本年10月からの実施に向けて準備を進めております。

引き続き、妊娠期から子どもが成人するまでの期間を通して、妊娠・出産、子育ての切れ目のない支援を推進してまいります。

次に、学校教育の中の「読み解く力の育成」についてです。

文章を正確に理解する力や、文章と図表を結び付けて必要な情報を取り出す力、書き手の意図を読み取る力など、「読み解く力」の育成を図るために、今年度から、新聞記事を題材に作成されたワークシートを、小学5年生から中学2年生までの全児童・生徒の学習に導入いたしました。身近な新聞記事を題材に、短時間で解けるようにまとまっていることから、朝学習や家庭学習の時間の中で、1回10分程度、年間30回実施していくことを予定しております。

今後も、全ての学びの基礎となる国語力の向上を図ってまいります。

次に、「かつしかチャレンジプログラム」についてです。

令和6年度は、学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象にした「かつしかチャレンジプログラム」を開設し、「自然科学コース」「English challenge（イングリッシュチャレンジ）コース」「プログラミングコース」の3つのコースを実施いたしました。

今年度は、この3つのコースに加え、「理数分野コース」を新設いたします。また、昨年度に募集定員数の2倍を超える応募があった「English challenge（イングリッシュチャレンジ）コース」については、定員数を大幅に拡大し、習熟度別にクラスを分け

て実施いたします。

「自然科学コース」は小学生 68 名、中学生 47 名、「プログラミングコース」は、小学生 28 名、中学生 61 名、「English challenge (イングリッシュチャレンジ) コース」は、中学生 97 名の応募がございました。理数分野につきましては、6 月中旬から募集を開始する予定です。

今後も、児童・生徒の能力を更に向上させる取組を充実してまいります。

次に、「不登校対策」についてです。

本年 4 月から、「ふれあいスクール明石」の受入対象を小学 1 年生からに拡大するとともに、6 月からは、「ふれあいスクール明石」の登録児童・生徒を対象に、東京都が実施する「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」を活用して、インターネット上の仮想空間での学習支援やコミュニケーションの機会を提供してまいります。

引き続き、不登校の児童・生徒の状況に応じた必要な支援の充実に努めてまいります。

次に、「学校給食費無償化に係る補助金の増額」についてです。

今後も必要な栄養量を満たした学校給食を安定的に提供し、児童・生徒の心身の健全な発達を促すため、食材価格が高騰している状況を踏まえ、学校給食費を改定いたします。それに伴い、学校給食費無償化に係る補助金を増額する経費を第一次補正予算案に計上しております。

引き続き、成長期にある子どもたちの健康増進や体力向上に資するよう、安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいります。

第 3 に「人や自然にやさしく、誰もが快適に暮らせる美しいまち」について申し上げます。

はじめに、「全国みどりと花のフェアかつしか」についてです。

現在、国、東京都等の関係自治体、地域住民や事業者等との連携・協働により、葛飾区が初めての開催となる新たな緑花イベント「全国みどりと花のフェアかつしか」に向けて準備を進めているところです。

本年4月11日に全国みどりと花のフェアかつしか実行委員会を設立し、同日に第1回総会、5月2日に第2回総会を開催しました。本フェアの実施に向けて、実行委員会での議論を踏まえ、引き続き関係各所との調整や協賛の確保を進めてまいります。

また、令和8年度の本フェアの開催に先立ち、今年8日にプレイベントを行います。プレイベントには、報道機関や関係者等をお招きし、アンバサダーの就任式やこれまで進めてきた花いっぱいのみちづくり推進プロジェクトの概要、活動の紹介などを行うことで、約1年後に迫った本フェアのより一層の周知や機運醸成を図るとともに、その後はアンバサダーを活用した広報活動を進めてまいります。

次に、「製品プラスチックの分別回収」についてです。

本年4月から、これまで「燃やすごみ」として収集していた製品プラスチックを、缶、びん、ペットボトル等を回収している「資源の日」に回収することといたしました。回収した製品プラスチックは燃やすことなく、再びプラスチック製品の原料として再生させるマテリアルリサイクルを実施しています。

ごみの出し方の大きな変更であるため、昨年度から、広報かつしか、資源とごみの収集カレンダー、ホームページ等の様々な媒体で周知を行ったほか、区内各地で区民説明会を実施し、区民の皆様にご丁寧な説明を心がけてまいりました。そして、4月1日からの一か月間で約8トン回収することができました。

引き続き、製品プラスチックを始めとしたごみの資源化を実施していくことで、更なるごみ減量と環境負荷の低減を進め、持続可能な資源循環型地域社会の構築を目指してまいります。

次に、「新金線の旅客化」についてです。

新金線旅客化は、新小岩、金町、高砂などの区内の拠点南北をつなぎ、地域の交通便利性を大きく向上させるとともに、沿線のまちづくりの進展や新たな人の流れが生み出す地域の活性化など、区の持続的な発展に重要な役割を担っていくものです。

また、高齢社会の進展や脱炭素社会の潮流など社会状況の変化を踏まえると、早期に実現を目指していくべきものであると考えています。

現在、新金線旅客化検討委員会での検討結果も踏まえ、旅客化の実現に向けた区の方針を策定するための検討を行っているところです。

5月には、これまでの検討状況について住民説明会を行っており、引き続き区民の意見を聞きながら、早期実現に向け、取組を更に進めてまいります。

第4に「葛飾らしい文化や産業が輝く、笑顔とにぎわいあふれるまち」について申し上げます。

はじめに、「地域力向上支援」についてです。

自治町会活動を活性化させるため、本年度から区による伴走型の支援を強化しております。

区内を3つのエリアに分け、地区別に担当を配置し、自治町会とPTAや子ども会等との連携促進をはじめ、地域の企画・運営会議への参加によるイベント・行事の準備や開催支援などのコーディネーターの役割を職員が担ってまいります。

また、自治町会のイベントや行事等に対する助成と自治町会の担い手不足の解消等を目的とした助成の補助限度額を拡大するとともに、申請を複数回できるようにすることで、より活用しやすい補助制度としております。

さらに、地区まつり助成の補助率を拡大するとともに、自治町会が発信する情報の新たな伝達手段として、デジタル回覧板の導入を9月に予定しております。

こうした取組により、自治町会を中心とした地域活動を支える多様なコミュニティによる地域力を向上させ、地域コミュニティの活性化に向けた取組を進めてまいります。

次に、「地域経済活性化対策」についてです。

今年度も葛飾区商店街連合会による「かつしかプレミアム付商品券」と「デジタルプレミアム付商品券かつしかPAY」の発行を支援いたします。

「かつしかプレミアム付商品券」については、発行部数20万セット、総額24億円、プレミアム率20%で実施いたします。5月23日までの申込期間中に、発行予定数を上回る応募があったため、5月30日に抽選会を実施いたしました。当選された方には、6月28日から7月6日まで、区内18か所で引換販売を実施いたします。さらに、第2弾として、11月から使用できる追加発行5万セット分の経費を第一次補正予算案に計上いたしました。

また、「デジタルプレミアム付商品券かつしかPAY」についても、当初予算の2万セットに加え、2万セット分の経費を第一次補正予算案に計上し、計4万セット、総額4億8千万円、プレミアム率20%で実施いたします。こちらは、8月上旬からの申込み、10月からの使用開始を予定しております。

これらの取組を進めることにより、区内業者のキャッシュレス決済の導入促進や、物価高騰が続く中での区民の生活応援と区内商業の活性化を図ってまいります。

次に、「こち亀記念館」についてです。

漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の舞台である亀有に、こち亀の作品や亀有の魅力を楽しみながら体感できる観光施設「こち亀記念館」を3月22日に開館いたしました。これまで2万人を超える多くの方々にご来館いただいております。

また、区内企業と連携して製作したこち亀記念館オリジナルグッズの売れ行きも大変好評なことから、オリジナルグッズ追加製作の経費を第一次補正予算案に計上しております。

こち亀記念館が亀有の地域活性化の核となり、これからも地域の方々と協働してにぎわいの創出を図ってまいります。

次に、セオドア・ウォレス氏の絵画「堀切菖蒲園」の特別展示についてです。

5月16日から25日まで、かつしかシンフォニーヒルズで開催した「第33回葛飾の美術家展」において、アメリカの画家セオドア・ウォレス氏が堀切の花菖蒲をモチーフにした明治期の作品「堀切菖蒲園」を葛飾区美術会との協働により、特別展示いたしました。

この絵画は、平成8年4月、国賓として来日されたクリントン大統領ご夫妻が、天皇皇后両陛下、現在の上皇・上皇后両陛下に贈られた作品です。花菖蒲が見頃となるこの時期に、宮内庁からお借りすることとなり、約3,000人もの多くの来場者に鑑賞していただくことができました。

本作品を通して、地元の誇りである堀切の花菖蒲が昔から多くの人々を魅了してきたという事実を知っていただく素晴らしい機会になりました。

次に「葛飾菖蒲まつり」についてです。

本区を代表するイベントの1つである「葛飾菖蒲まつり」は、5月26日から6月15日まで開催しており、6月1日は、堀切菖蒲園と水元公園の両会場において開会のセレモニーが開催されました。

菖蒲まつり運営協議会・実行委員会をはじめとする地域の皆様が企画した様々なおもてなしイベントと美しい花菖蒲で、連日、区内外から多くのお客様をお迎えしております。

次に「葛飾納涼花火大会」についてです。

第59回葛飾納涼花火大会は、持続可能な花火大会としていくため、有料指定席の拡大や協賛方法の見直しなどを行いながら、安全を最優先に準備を進めております。

開催日である7月22日には、歴史ある花火大会として、華やかな花火で皆様を魅了してまいります。

以上、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けた主要事業の進捗状況を申し上げました。

そのほか、今定例会にご提案を申し上げます案件につきましては、上程の折に主管者から詳細にわたりご説明いたしますので、よろしくご決定をいただきますようお願い申し上げます。令和7年第2回区議会定例会の開会に当たっての私の挨拶といたします。